

現代経営学応用研究

アカデミック・アントレプレナーシップ

担当：坂井貴行

1. 講義のテーマ

知識社会における国際競争力の確保の必要性から、大学は社会全体の知の源泉として重要な役割を担っており、大学等の研究成果の活用を目的とした産学連携は、国家的な期待の高まりが見られます。本講義では、近年注目を集めているアカデミック・アントレプレナーシップについて、目的、意義、効果について学びます。具体的には、国内外の具体的な事例を取り上げながら、産学連携によるイノベーション創出において求められる共同研究マネジメント、利益相反マネジメント、大学研究成果の商業化（技術シーズ情報の獲得方法、知財のマーケティングとライセンス）の方法を習得します。

2. 講義の到達目標

アカデミック・アントレプレナーシップに関する基礎知識を習得するとともに、実践的な演習・グループワークを通して、大学の研究成果等を活かした持続的・革新的なイノベーションを生み出すことのできる能力を涵養することを目指します。

3. 講義概要

[第1回・第2回] 5月9日（火）5・6限

イントロダクション／共同研究マネジメントⅠ・Ⅱ

産学連携の意義や課題、共同研究マネジメントに関する基礎知識を学習します。産学連携がもたらす恩恵と問題について、理解を深めるとともに、産学連携における共同研究プロジェクトにおいて、産と学の間で生じやすいトラブルと対処法について、具体的な事例をもとに議論します。

[第3回・第4回] 5月16日（火）5・6限

共同研究マネジメントⅢ／利益相反マネジメント

共同研究マネジメントと利益相反マネジメントに関する基礎知識を学習します。産学連携における共同研究プロジェクトにおいて、産と学の間で生じやすいトラブルと対処法について、理解を深めるとともに、産学連携で生じる利益相反問題と適正なマネジメントについて議論します。

[第5回・第6回] 5月23日(火) 5・6限

大学研究成果の商業化Ⅰ・Ⅱ

大学研究成果の商業化における技術シーズの獲得に関する基礎知識を学習します。大学研究成果の商業化における技術シーズの特徴について、理解を深めるとともに、具体的な事例をもとに、技術シーズの獲得方法を実践しながら、押さえておくべきポイントについて議論を深めます。

[第7回・第8回] 5月30日(火) 5・6限

大学研究成果の商業化Ⅲ

大学研究成果の商業化におけるライセンスとネゴシエーションに関する基礎知識を学習します。大学とのライセンスとネゴシエーションの特徴について、理解を深めるとともに、具体的な事例をもとに、ライセンス交渉を実践しながら、押さえておくべきポイントについて議論を深めます。

4. 成績評価方法

(1)出欠状況とグループワークへの参加・貢献 (50%)

(2)レポート試験 (50%)

A4で2枚の期末レポートを書いていただきます。テーマと提出期限は最終講義までに受講生に案内します。

以上